

評価対象資料の概要

1. 名称

銅鏡（州浜山吹双雀鏡）

2. 法量

直径 9.1cm、最大厚 0.5cm、重量 46.3g

3. 形状・文様等

（別添写真のとおり）

4. 参考事項

（1）当該資料は大正時代に日吉町の酒浪神社の経塚から出土したとみられるものです。

※鏡を収納する木箱の蓋の内面にも「岐阜県土岐郡瑞浪市・日吉町出土」と記載されています。

（2）出土に係る記録は「資料2」（昭和7年（1932）刊『考古学雑誌』第22巻第9号「美濃国土岐郡日吉村経塚及び発見遺物」）をご参照ください。

※本文中に「十余年以前に発掘せし…」とあることから、経塚が発見されたのは大正10年（1931）頃と考えられます。

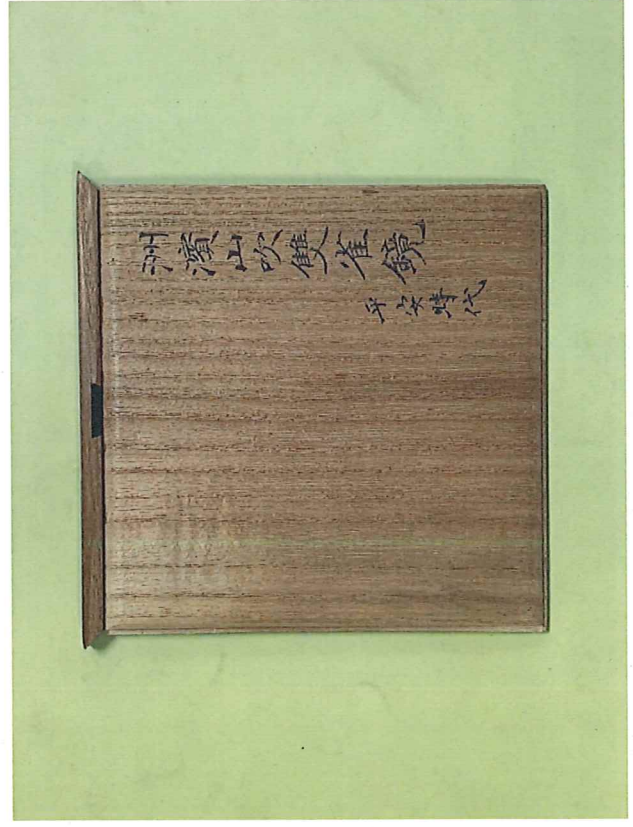
※当該報告中に出土した鏡の拓本が掲載されており、評価対象資料と文様が近似しています。また、同報告には鏡の直径が3寸（ $9.1\text{cm} \div 3.03\text{cm} \times 3$ ）と記載されており、鏡の直径（9.1cm）と一致しています。



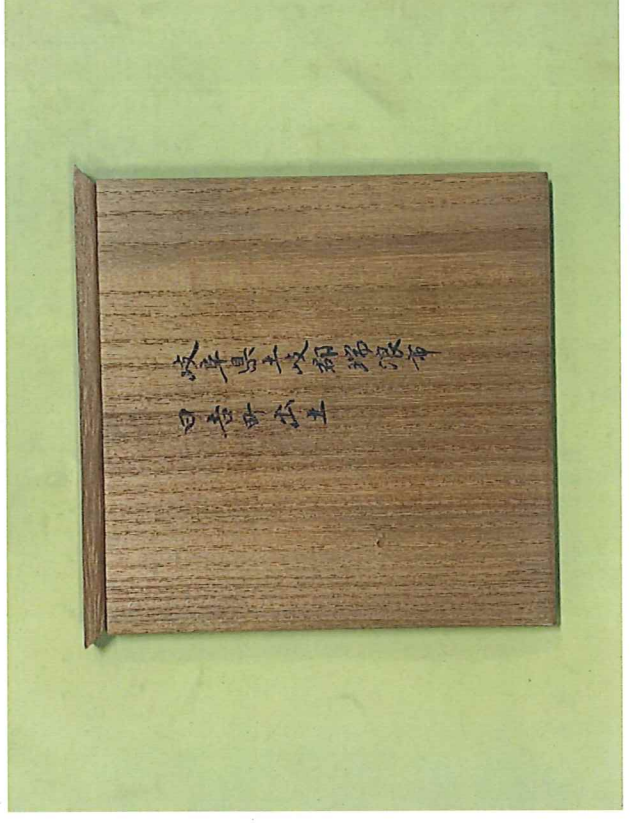
1. 背面



2. 鏡面



3. 箱蓋(外面)



4. 箱蓋(內面)